

## スーパーグローバルハイスクール(SGH)活動報告

★平成 26 年 12 月 SGH 特別講義 12 月は、SGH 特別講義をたくさん実施しました。

①12月15日(月) 「グローバル社会における開発の課題と挑戦」

国連開発計画 アジア・太平洋地域局 アジア・メコン地域課次席 中 恭 先生



ニューヨークの国連本部でご活躍の中先生が一時帰国され、SGHの生徒たちに特別講義を実施してくださいました。世界の現状や言葉の定義をクイズ形式で答えていきながら、「国連開発計画の活動」「開発とは何か」「開発の歴史」等について様々なデータをもとにご説明くださいました。

②12月22日(月) 「NPO な研究所:ベルギーIMEC 何をやるどころ?なぜ成功しているの?」

IMEC日本代表 久保田大志 先生



IMECとは、1982年創設されたベルギーのルーヴェン市に本部を置く国際研究機関であり、NPOです。世界を代表する500社を超える企業が出資しており、リソグラフィ技術や太陽電池技術、有機エレクトロニクス技術など次世代エレクトロニクス技術の開発に取り組んでいます。日本の高校では初めてIMECより講師をお迎えし、IMECの成り立ちや成功の原因、今開発中の最先端技術にいたるまで詳しくお話しいただきました。

IMECから学ぶことはたくさんあります。今まで企業努力で行っていた技術開発という部分をNPOが担うというNPOの可能性、IMECの運営方法に見る日本企業との体質の違い、そして現在開発中の技術から見える未来の世界……。久保田先生は生徒たちの質問に答えながら、IMECの運営方法、トランジスタの説明、原子5個分にまでなった半導体など現在の技術の紹介、そして最新技術まで豊富な写真とデータを使ってご説明くださいました。そこに見える未来の姿に、生徒たちは畏怖の念さえ感じていたようでした。また、今回の講義は理系分野に大きく関係するので、SSHの生徒も一緒に受講しました。SSHとSGHの生徒と一緒に学ぶ機会も増やせていけたらと思います。



③12月25日(木) 京都大学特別講義「インターネットの利用で世界規模で変革する教育の可能性」

京都大学 国際高等教育院 教授・副教育院長 喜多 一 先生

京都大学 理事補(教育担当) 高等教育研究開発推進センター長 飯吉 透 先生



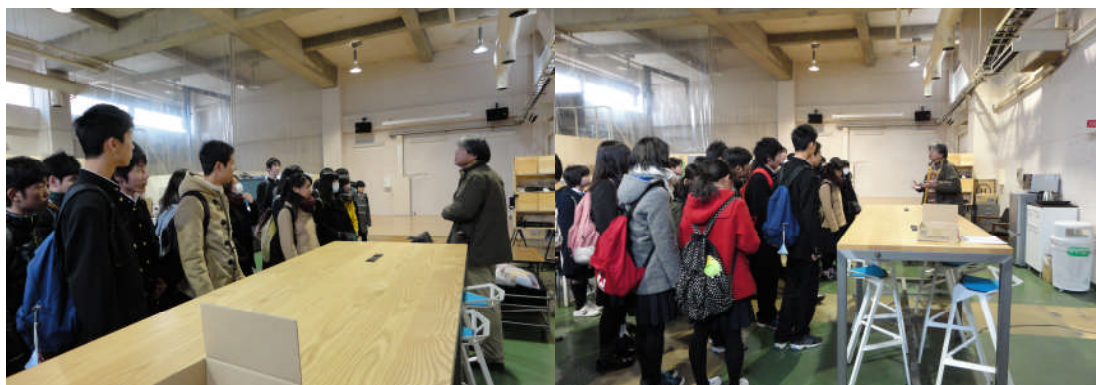
1990年にWorld Wide Webが、1998年にGoogleが誕生したことで世界は一変しました。SGHの生徒たちはGoogleと同年。彼らが活躍する未来では、インターネットを抜きにした姿は考えられません。この25年、様々な論議を重ねられながらも進化を続けているインターネットのこれからの可能性はどのようなものなのか。午前中は飯吉先生にopen educationの分野からご講義いただきました。そして、open educationが進んだ未来はどのようなものになるのかについて、クリッカーを使って意見を交換しあいました。まず、質問に対して生徒が4つの選択肢からひとつを選び、どの選択肢を何人選んだかがグラフに示されます。次に、生徒たちが自分の意見を発表しあい、その後もう一度同じ質問に答えます。興味深かったのは、意見を交換しあった後は、グラフが変化すること。「お互いが学びあうというのはこういうこと。onlineなら世界中の人が教えあい、助けあうことができる。(飯吉先生)」今後、教育だけでなく様々な社会の形が変化していくことを実感できた講義でした。



午後は、喜多先生によるワークショップ。テーマは「Design Thinking」。「フィールドワーク→ブレインストーミング→コンセプト→ソリューション→プロトタイプ作成と評価」という一連の流れの、コンセプトとソリューションの部分にグループで挑戦しました。「震災が起り、三国丘高校で三丘生が避難生活を送っている。そこでopen educationをどのように活用できるようにするのか」。まず、避難している三丘生の人物像を設定し、24時間の生活パターンを考え、open educationを利用する可能性をさぐる。どんなアイデアやテクノロジーも、実際に活用していくには多方面から観察・考察し、何が必要なのか論理的に考えていくことが必要であることを学びました。



お昼休みには、京都大学デザインスクールの吉田ウェブを見学させていただきました。ここでは、大学院生が学部の垣根を越えて新しいアイデアを生み出し、それをすぐ形にできるようになっています。舞台や3Dプリンターなど様々な機械が備えられていました。この場所から、世界を変えるアイデアが誕生する日が楽しみです！



★平成 26 年 12 月 13 日(土) 京大キャンパスガイドにてプレゼンテーション

「Our Challenges for the Future — Problems Facing Japan」 上野、仲野、上池

京都大学にて、GLHS(大阪府／進学指導特色校)を対象にした京大キャンパスガイドが開催され、第1部の課題研究発表の部において、10校を代表しての文系発表として本校SGH生徒3名が英語でプレゼンテーションを行いました。上野さんは過剰包装への提言、仲野さんは日本の負債や税金問題を受けて教育への提言、上池さんは仕事と育児の両立へ向けた提言を行いました。

